RECRUITMENT INFORMATION

厚生労働省

採用担当者 問い合わせ先

医薬・生活衛生局　検疫所業務課
検疫所管理室　人事・給与係

〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2

TEL：［代表］03-5253-1111（内線 2466）［直通］03-3595-2333
https://www.mhlw.go.jp/general/saiyo/keneki.html

検疫官　看護師

検疫所イメージキャラクター
「クアラン」

QUARANTINE OFFICER

MINISTRY OF HEALTH, LABOUR AND WELFARE

厚生労働省

検疫官［看護師］採用案内

TO THE NEXT STEP

RECRUITMENT INFORMATION

感染症の拡大を防ぐ。これが、わたしの使命。

TO THE NEXT STEP

世界の国々は空や海でつながっており、
今や人や物がとめどなく行き交っています。
日本もグローバル化が進み、世界的な活動や流通も衰えを
知りません。しかしながら、世界に開かれれば開かれるほど、
感染症が国内に流入する恐れがあることも事実。
その感染症の流入を日本の水際で可能な限りせき止める
ことが、検疫の使命。国内の健康安全は、
検疫官一人ひとりの手に掛かっています。
日本の未来を握る、誇り高き検疫官。
あなたの挑戦が日本を守る一歩となります。

海や空の玄関口である検疫

検疫は国際線のある空港や国際船舶が停泊する海港を
中心に日本全国津々浦々に存在し、
世界とつながる海や空の玄関口となっています。
北は北海道、南は沖縄まで 13 検疫所本所に連なる支所・
出張所で構成されています。
プライベート線などで、検疫所が常駐しない地に航空機や
船舶が来た際には、その地まで足を運び、検疫を行う
場合もあります。

国民の暮らしを繋ぐ「防波堤」として

新型コロナウイルス感染症という病気を通じて、
検疫所を知った方も多いと思います。
現在、このコロナ対応で空港や港で活躍している
看護師は、臨床で培った観察力と心遣いを発揮して、
帰国、入国者へ対応しています。
難しい課題も、優しさの詰まった強さと粘り強い
責任感、客観的な視点のバランス感覚で対応し、
帰国、入国者や国民の安全な暮らしに繋いでいます。
対患者さんから広く国民の健康を守るために、
皆さんもその力を発揮してみませんか。
是非、チャレンジしてください。

医薬・生活衛生局
検疫所業務課
検疫所管理室長
川崎　信一

ALIGNMENT

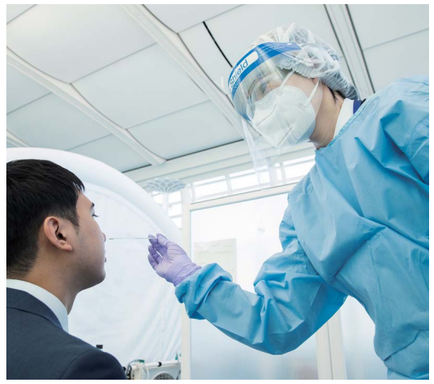
様々な職種との連携

検疫官と称される私たちが検疫業務を担っています。
ひとえに検疫官と言っても、その職種は一つではなく、看護職の他に
医療職・一般職（事務官）も検疫官として勤務しています。
また、検疫所には、食品衛生監視員という職種も存在し、様々な職種が
相互に関わり合いながら業務を行っています。

検疫官としての業務は、職種によって明確に線引きされておらず、
時として同じ業務を行い、どの検疫官も協力して業務を行っています。

WORK PLACE

空港勤務



空の玄関口である空港での主な業務

海外から日本への入国に航空機の利用が主要となっています。空港勤務では、航空機を利用した入国者に対して、感染症にかかっていないかという検疫を実施しています。
国際線のフライトスケジュールに合わせ、交替制のシフト勤務により体制を組んでおります。なお、今般では特に新型コロナウイルス感染症の影響により、入国者に対する検疫業務の重要度が高まっております。そして、海外から来航した航空機より、感染症が持ち込まれないよう、空港の政令区域内や航空機内の衛生調査・媒介動物の調査もしています。

港勤務

海の玄関口である海港での主な業務

全国の検疫所では、感染予防として海外渡航前の黄熱ワクチンの接種を担っています。また、人々の日本への入国は航空機だけでなく、船舶も手段としてあります。検疫所は、日本に来航する前の船舶に申請を求め、場合によっては停泊した船舶へ出向き、乗客と船員に対し健康確認を行います。人に対する検疫だけではなく、船舶そのものに対しても、感染症を拡大させぬよう衛生検査等を行っています。
衛生検査は船長（申請者）に対して必要書類を求め、実際に船舶内に立ち入って行います。また、病原体を保有したねずみ族や蚊族が船舶を介して日本に侵入する恐れがあるため、海港の政令区域での媒介動物の調査を行っています。

厚生労働省本省勤務

政策に携わる管理中枢的な役割

検疫所から出向し、厚生労働省本省へ着任することがあります。
検疫所では、検疫業務に関わる方一人ひとりに直接制度を施す一方、本省では国民の皆様とは間接的な立場でありながら影響力の大きい日本の政策や制度そのものについて携わることができます。他省庁や各地方自治体との連絡調整も多い点が特徴的です。全国の検疫所の管理をするポストの他、幅広く人々の健康に携わるポストなど、存在するポストは多岐に渡っており、検疫所とはまた違った業務を経験することができます。

WORK:1

検疫業務

QUARANTINE

WORK:2

衛生業務

HYGIENE

海外から感染症の流入を阻止する検疫業務

検疫所では、日本に入国する全ての人に対して、検疫を行っています。
症状がある人、体調や健康に不安のある人を健康相談室へ誘導し、その症状や滞在した国が
感染症の流行国かどうか等を確認します。また、必要に応じて検査を実施し、その結果、
医療機関への搬送や隔離・停留・消毒等の防疫措置を講じます。

WORK OVERVIEW

検査検体の扱いや有症状者の対応

検疫感染症に感染している疑いがある入国者に対しては、必要に応じて検査を実施します。看護師は検体採取の補助を行ったり、採取した検体を関係各署に搬送する作業を行います。検査の結果、感染症に感染していると確認された場合には、医師の指示の下、待機や隔離の対応を行ったり、医療機関等への搬送を行います。

入国者や出国者に対する感染予防対策

検疫では出国者に対しても感染予防対策を行っています。空港や海港の出国ブースに相談カウンターを設け、渡航に関する相談を受けています。感染症等の世界情勢に併せ、出国者に対して海外で注意すべき感染症の案内等を行うのも業務の一環です。検疫所では、渡航者に対して黄熱の予防接種を検疫で行っているので、その相談や接種の補助も行っています。

感染症の蔓延を防止する衛生業務

検疫所が行う感染症対策は、人に対する検疫だけではありません。
海外から来航した船舶そのものや航空機を介して、感染症媒介動物が感染症を日本へ持ち込む
可能性があります。生物を調査して病原体の侵入や定着の状況を監視することや、
船舶の衛生状態を検査することで、感染症が国内に蔓延することを防止しているのが衛生業務です。

WORK OVERVIEW

蚊族・ねずみ族の調査

感染症や病原体を保有している蚊族・ねずみ族の侵入や定着状況を監視するため、船舶や航空機、海港や空港の政令区域で、蚊族を採取したり、ネズミ族を捕獲したりしています。その後、食品衛生監視員らの検査によって病原体保有の有無について確認されます。

船舶衛生検査

国際航行する船舶が、感染症拡大の起因となることがあります。そういった船舶に対して、ねずみや虫類等の発生有無、廃棄物等の適正管理等といった公衆衛生上の事項について確認を行い、船舶の衛生状態に応じて船舶衛生管理証明書の交付や衛生状態の改善措置等を実施しています。

WORKFLOW

夜勤ありの場合

一日の流れ
[空港勤務]

MESSAGE

玉置 明菜 関西空港検疫所検疫課 検疫係

長期休暇が取得しやすい環境。休日は疲れを癒しています。

シフト勤務のため勤務形態は様々ですが、平日の休暇や長期の休暇等は取得しやすい職場環境です。
長期の休暇には帰省し、温泉に行ったり家族と過ごしたりして、日々の疲れを癒やしています。勤務明けには愛犬と公園などをのんびりと散歩して、疲れを溜めすぎないようにしています。

01 AM 11:00 出勤。本日の到着便情報や事務連絡をチェック。

02 PM 12:00 昼食休憩！順次交代しながら、各自食事休憩です。

03 PM 14:00 到着便対応。入国者の検査や書類審査、搬送をします。

04 PM 18:00 夕食休憩。まだまだこの後も入国者は到着します。

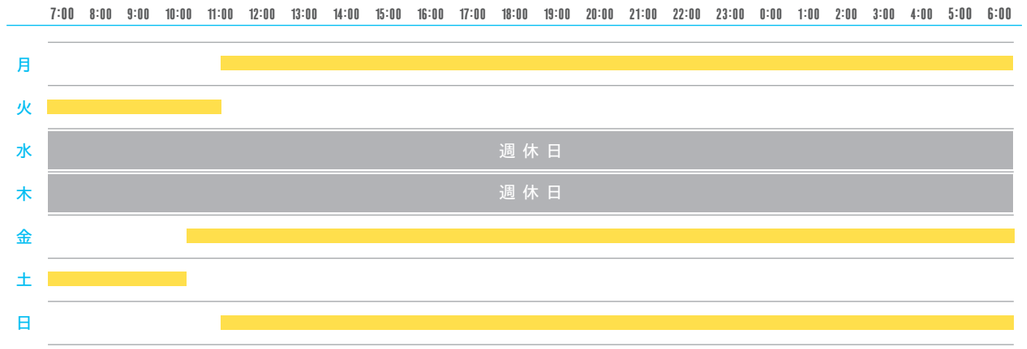
05 AM 0:00 仮眠。ようやく一息つけます。

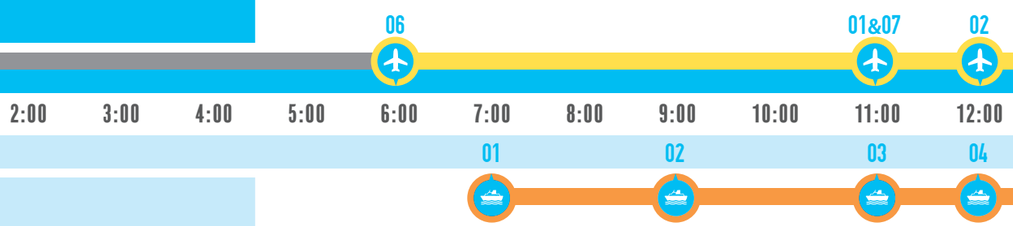
仮眠

06 AM 6:00 起床。午前到着便の対応。あともうひとがんばり。

07 AM 11:00 退勤。今日も一日お疲れ様でした。

ある一週間のスケジュール





01 AM 7:00 出勤。さて今日も一日頑張るぞっと！

02 AM 9:00 臨船検疫。しっかりと安全対策して船に上ろう。

03 AM 11:00 検体提出。船員さん達が全員陰性だと良いなぁ

04 PM 0:00 昼食休憩。今日は船酔いもなかったから沢山食べよう！

05 PM 14:00 検査結果の報告、書類整理。全員問題なくて良かった！

06 PM 16:00 退勤。明日のスケジュールを確認して、さぁ帰ろう。

WORKFLOW

日勤の場合

一日の流れ
[港勤務]

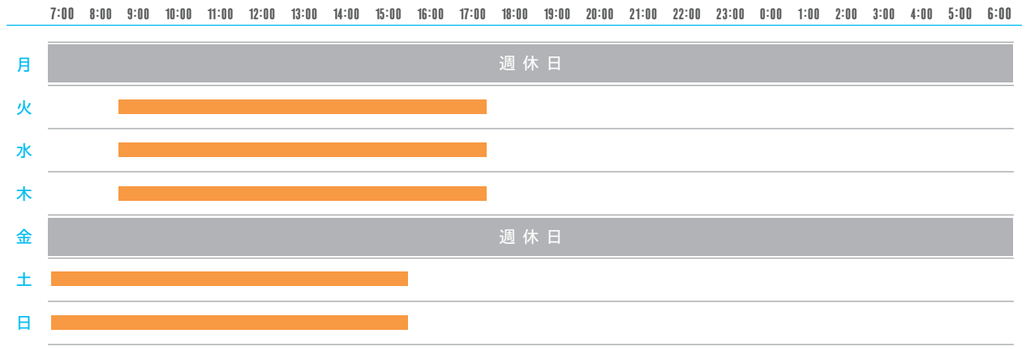
MESSAGE

主任看護師
馬渕 寿史 福岡検疫所 検疫衛生課

遠方の港まで赴く事もあり刺激的な毎日。休日はしっかり休んで気分転換しています。

基本的には朝から夕方までの勤務です。遠方の港まで車を運転して、船の検疫や検査に行くこともあります。その際に時間的に余裕があれば、訪れた港の定食屋さんを探して昼食をとるのが楽しみになっています。
休日は土日とは限りませんが、仕事の事から離れるよう、オートバイの整備やツーリングに出かけるなど気分転換しています。

ある一週間のスケジュール



自分のやりたいことに挑戦する。

STEP UP #1

先輩に聞く キャリアパス

東京検疫所東京空港検疫所支所看護師

信木 夏季

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の水際対策を中心に、航空機の検疫衛生業務に従事しており、入国者の滞在歴、健康状態の確認、検査、待機施設への搬送といった一連の業務を行っています。また、国が指定する待機施設、療養施設にも看護師として従事しています。

2015 MARCH
看護学校卒業

看護師として新たな活躍の場を模索していく中で、水際での感染症の侵入を防ぎ国民の健康を守るという最前線で働く検疫官という職業に魅力を感じ志望。また、空港や港が好きでそこで働いてみたい憧れがあった。

2015 APRIL
広島県内の病院勤務

プリセプター、チームリーダー、看護研究など担当。リーダーとしての責任感や、後輩指導の難しさを痛感し、試行錯誤の日々を送る。今まで教えられる立場から教える立場となり指導する側の大変さを痛感。私を指導し成長させてくれた方々へ改めて感謝する機会となった。

コロナ渦での水際対策を経験し、その役割の重要性を改めて感じ、更に検疫官として様々な経験を積み重ねていきたいと思うようになった。

2020 SEPTEMBER
東京空港検疫所支所看護師

コロナ渦での水際対策に従事。
東京オリンピック開催時に羽田空港にて検疫業務に従事し、貴重な経験となる。

MESSAGE

様々な人と出会い成長させてくれる場所

入職した当時は、分からないことも多く緊張と不安がありましたが、優しく頼れる上司、先輩方ばかりで困ったことがあれば親身になって耳を傾け、一緒に考えてくれる環境であるため、大きな不安もなく仕事をすることができています。また、同年代の仲間も多く、気軽に相談できますし、みな仲も良く心強い存在であると感じています。
職員の年齢層は幅広く、今まで様々な経験をしている職員も沢山いますので、幅広い知識の習得ができ、キャリアアップできる環境で、刺激を受け充実した日々を過ごしています。

看護師として新たな経験ができる場所

検疫所では入国者の健康状態の確認、渡航者への情報提供、時には緊急時の対応もあり判断能力、コミュニケーション能力、また臨床での経験や応用力等を求められる場面があり、医療現場で培われた経験は検疫所の様々な業務で必要とされており、看護師としてのスキルを生かせることができる職場です。また、魅力の一つとして病院勤務では出来ない様々な経験ができることだと思います。
空港や港といった勤務地、配属される場所によって業務内容が異なることもあるため、日々学ぶことも多く成長を感じられる職場だと感じています。今後皆さんと一緒に働ける日々を楽しみにしています。

責任感をもって周囲に目を配る。

STEP UP #2

先輩に聞く キャリアパス

名古屋検疫所中部空港検疫所支所主任看護師

末次 聡子

新型コロナの検疫対応を中心に検疫感染症の流入を防ぐために、日々海外から入国される方に対して検疫対応を実施しています。

2007 APRIL
産婦人科病棟勤務

産科、婦人科業務を経験

2009 APRIL
産科病棟勤務

助産業務を経験

忙しい業務に追われ疲弊していたため、ワークライフバランスが充実した仕事に就きたいという思いが芽生えた。

2015 MARCH
那覇検疫所
那覇空港検疫所
支所看護師

空港検疫に従事

2021 APRIL
名古屋検疫所中部空港検疫所支所主任看護師

コロナ対応の検疫を経験

自分のことだけでなく周囲をみて円滑に業務が進むよう働きかけるよう心がけている。

MESSAGE

病院と検疫所の違いについて

入職当初、自分のデスクがあり、他職種の人と一緒に業務を行うという今までとは全く違う環境に戸惑う面もありましたが、今まで経験したことのないことばかりで楽しさを感じました。一緒に業務を行う人たちの年齢も病院と比べ幅広く、今までの経験も交えながら検疫業務について説明したり、問題があったときにはどう対応したら良かったのか振り返りを実施したりという中で少しずつ業務を学んでいきました。
また、当時は何かあれば報告し上席に判断を仰いでいましたが、主任となった今では自分が報告を受け、判断を迫られる状況も増えたことで、全体を把握しどのようにしたら良いか考える機会が増えました。

検疫所での看護師

国内にない感染症の侵入を防ぐため有症者に対して問診を行いますが、その中で今まで働いてきた中で得た知識やコミュニケーションのスキルが役に立ったと感じました。
医療の第一線で活躍できるのは病院勤務ですが、病院とは全く違う環境の中で看護師としてのスキルを活かして働きたいと考えている人には、検疫所を一つの選択肢として考えてみるのも良いかと思います。

未知の世界に飛び込むと、色々な経験が！

STEP UP #3

先輩に聞く キャリアパス

成田空港検疫所検疫課看護師長

阪口 洋子

「FORTH」という検疫所のホームページから、渡航者に対して情報発信する情報管理室に所属しています。現状は、新型コロナウイルス感染症の水際対策強化中につき、検疫業務が主となっていて、入国時の検疫に関する色んな事例の対応に追われています。

後輩に道をつくれるように頑張れとの恩師からの連絡で未知の世界へ飛び込んだ。

2003 JULY 関西空港検疫所 看護師

SARSの発生を機に当時勤務していた総合病院を退職して検疫所に入職。

2007 APRIL 横浜検疫所 看護師

業務を通し、大学院の博士課程を勧めてくれる人に出会い、博士課程へ進む。

2010 APRIL 東京検疫所東京空港検疫所支所 看護師

勤務明けや休日は大学院のためにシフトを調整して頂き、周りの支援のおかげで医学博士を習得。

働きながら大学院で学ぶこと、職場に限らず、多くの大切な人脈ができた。

2019 APRIL 東京検疫所 主任看護師

育児休業から復職。子育てとの両立をする中、新型コロナウイルスの発生により、生活が一変。武漢のチャーター便への搭乗、ダイヤモンドプリンセス号の船内隔離の応援業務を経験。

2020 APRIL 成田空港検疫所 主任看護師 検疫情報管理室 併任

子どもができてから初めての異動。長距離通勤となり、遠方の実家、夫の協力、職場の理解を頂き、ワークライフバランスを保っている。

MESSAGE

上司、同僚、家族に感謝の気持ちでいっぱい

保育園のお迎えがあり、超過勤務ができないため、効率的な業務の遂行と周囲との情報共有を大切にしています。夫婦双方の親族が遠方のため頻回のサポートは難しいため、2年間の育児休業取得後、職場復職するまでは子育てと仕事の両立ができるか不安でした。しかし、職場には経験者が多いので、アドバイスをもらえ、仕事はフォローしてくださり、保育園のお迎えの時間までに退庁できるように協力してくれます。コロナ禍で、成田空港の多大な業務量と本省で働く夫が多忙で、どうしてもお迎えが行けないような時期もあり、子どもを1か月ほど実家に預けて仕事をすることもありましたが、多くの方に支えてもらっていることを実感しています。

人は、人の言葉に救われ、心軽くなる

体外受精でこどもを授かり、妊娠中は2時間の通勤で、職場に着いたら出血したことがありました。
その時、職場の同僚に「おなかの赤ちゃんを守ってあげられるのは、母親だけなのよ。」と言われたこと、また、こどもの急な発熱や保育園のお迎えで、仕事に集中できないことで周りに迷惑をかけていると思っていることを夫に相談すると「仕事はお前がいなくてもまわっていかないといけないことは、みんなわかっているから」と言われ、割り切ることができました。周りの方は、最善策を一緒に考えて、温かく両立を支援してくださいます。

新たなことに挑戦し、真摯に取り組む。

STEP UP #4

先輩に聞く キャリアパス

東京検疫所上席空港検疫管理官

小出 由美子

水際対策を強化している中で、検疫業務が速やかに行われるように入管や税関などといった関係機関との調整や、新たな水際対策のなかで対応について疑問点などがあれば、厚生労働省（以下、本省）に確認するなどして、確実な対応ができるようにしています。また、現場の状況や発生している問題についても本省に報告して現状を把握していただくようにしています。

看護師として初めて係長を任命された時は戸惑うことも多かったが、仕事の幅が広がった。

2015 APRIL 東京検疫所東京空港検疫所支所 検疫係長

検疫所では初めて看護師が行政職として係長に任命される。

2016 APRIL 成田空港検疫所 空港検疫 看護管理官

空港検疫看護管理官に任命され本省からの業務の一部を担うことになる。

2018 APRIL 厚生労働省生活・食品安全企画課 検疫所業務管理室長補佐

本省の検疫所業務管理室に初めて看護師のポジションが配置され着任する。

2021 APRIL 東京検疫所上席 空港検疫管理官

看護師として初めて上席空港検疫管理官として着任する。

本省の仕事は厳しいことも多かったが、他では経験することが出来ない貴重な経験できたことで、今の仕事にも生かされている。

MESSAGE

恐れずに挑戦して新たな道を開く

検疫所の経験を経て本省に出向しましたが、看護師として初めてのポジションであったことから、自ら切り開くイメージで臨みました。本省では分からないことも多く、何もできない自分を嫌というほど思い知らされ、落ち込むことも多くありましたが、新たな仕事に挑戦できることや、本省での仕事の取り組みは刺激的でもあったため、続けることができました。また、他省庁の方々と対話する機会も多く、他では経験できない多くのことを経験しました。現在はこれらの経験を生かし、看護師のキャリアアップの一つとして、上席空港検疫管理官を目指すことができるよう仕事に取り組んでいます。

仕事の幅を広げることができる職場環境

新型インフルエンザやSARS、エボラ出血熱、COVID-19と時代ごとに発生した感染症と水際対策のそれぞれに新しい対応であり、いずれも貴重な経験でした。検疫所に在籍していたことで、感染症を専門とする著名な先生方から直接お話を伺う機会や、各専門分野の先生方と知り合うことができ、視野が広がりました。また、看護師から係長、看護管理官、本省の室長補佐とキャリアアップしていく中で、行政官としての経験と思考が養われたと思います。検疫所で様々な経験を通し、多くのことを得ることができますが、更に自身の可能性に挑戦したいと思えば、本省など新たな視点で仕事ができる職場への異動もあります。行政官でありつつも看護師として知識と経験を生かすことができる環境があります。
一緒に働きましょう。

検疫所編

QUESTION #1
先輩に質問！

福岡検疫所　検疫衛生課　検疫係長

古賀　忍

2008　関西空港検疫所　検疫課　入職
2010　那覇検疫所　検疫衛生課
2013　成田空港検疫所　検疫課
2016　福岡検疫所　検疫衛生課
2018　福岡検疫所　福岡空港検疫所支所　検疫衛生課
2020　福岡検疫所　検疫衛生課

QUESTION-1
現在の担当業務について

博多港、三池港、唐津港及び佐賀空港に来港する船や航空機の検疫を行うことが主な業務です。
検疫感染症の疑いがある場合は、船舶や航空機に直接乗り込んで確認を行います。その他に衛生業務、予防接種業務、海外渡航者からの電話相談も行っています。現在は新型コロナウイルス感染症の水際対策で、宿泊施設の運営にも携わっています。
検疫係長としては当課のみでなく、管内の支所・出張所の取りまとめを行っています。

QUESTION-2
印象深かった業務

臨船検疫です。
臨船検疫では、沖で通船から対象の船舶にジャコップ（縄ばしご）で乗り移ることがあります。
船への乗り移りは危険を伴うため、安全を第一として対応しています。
この臨船検疫が経験できる機会は少ないため、職員の育成や確実な船舶の検疫の両面を考慮し対応しており、気が抜けない業務の１つです。
船に乗り込み下船するまでは、緊張の連続ですが、検疫官でなければ経験ができない魅力のある業務です。検疫官として誇りを持って業務に臨んでいます。

QUESTION-3
採用希望者へのメッセージ

看護師時代に培った経験を活用するというよりも、新たな事にチャレンジする気持ちが大切だと思います。
内部・外部の研修だけでなく、全国転勤、外部機関への出向や行政職としての研修を通し、スキルアップを図ることができる職場です。未知の感染症と隣り合わせのお仕事ですが、日頃から訓練を実施し、有事に備えています。大変やりがいのある仕事です。
興味をもたれた方、ご応募お持ちしています。

外部機関編

QUESTION #2
先輩に質問！

国立感染症研究所　国際協力室　協力係長

岡村　大介

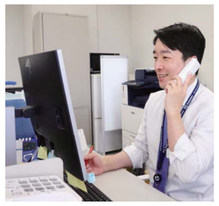
2015　成田空港検疫所　検疫課　入職
2017　厚生労働省　大臣官房　厚生科学課健康危機管理･災害対策室
2019　厚生労働省　医薬・生活衛生局
　　生活衛生・食品安全企画課検疫所業務管理室
2020　国立感染症研究所　国際協力室

QUESTION-1
現在の担当業務について

国立感染症研究所は、感染症に関する国の保健医療行政の科学的根拠を明らかにすることを目的とした様々な機能があり、国際協力室は、主に国際協力と研修に関する業務を担っています。
具体的には、国際的な感染症対策のための技術協力の調整、外国機関との協力覚書の締結支援、国際会議の企画運営等を行っています。
WHO や外国機関等との綿密な調整や交渉では、米国で看護師として勤務していた時に養ったコミュニケーション能力が役立っています。

QUESTION-2
印象深かった業務

新型コロナウイルス感染症拡大にともなう、邦人退避の武漢チャーター便のオペレーションに携わったことです。刻々と状況が変化する中、機内で検疫チームが検疫業務の任務を問題なく遂行できるよう調整を行いました。また、関係機関から感染対策や症状の緊急性等の知見を求められる場面もあり、検疫はもとより医療現場での知識と経験をフル動員し、関係者と協力して対応にあたりました。検疫官としての知識と行動力の重要性を再認識させられた貴重な経験でした。



QUESTION-3
採用希望者へのメッセージ

検疫所には、さまざまな臨床経験等を積んだ看護師が活躍しています。
業務は、海外渡航前の健康相談や予防接種から船舶の衛生検査まで多岐にわたりますが、看護師として備わっている専門的知識、情報収集、分析、判断等の能力を発揮できる職場です。現在、検疫官（看護師）が配置されるフィールドも拡大しており、行政官として看護師の役割をこえたスキルが求められます。
その分、やりがいも大きく、新たな経験や知識が得られるのも、この仕事の醍醐味であると思います。
感染症水際対策の最前線で、一緒に働けることを楽しみにしています。

GALLERY
ギャラリー

MEMBER OF STAFF

中部空港検疫所支所

大阪検疫所

神戸検疫所

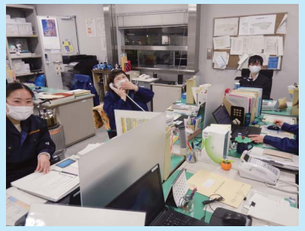
関西空港検疫所

小松空港検疫所出張所

門司検疫所支所

福岡空港検疫所支所

千歳空港検疫所支所

仙台空港検疫所支所


東京検疫所

羽田空港検疫所支所

横浜検疫所

成田空港検疫所

那覇検疫所

那覇空港検疫所支所

SYSTEM 福利厚生・研修制度

福利厚生について

年次休暇

１年間で最大20日間の休暇が取得可能です。(時間単位での取得も可能) また、休暇は最大20日間を次の年へ繰り越すことができます。

夏季休暇

７月から９月まで連続する３日間の休暇を取得することができます。厚生労働省では、年次休暇2日間と続けて連続する５日間の休暇取得を推奨しています。

育児休業･介護休暇等

育児や介護を行う職員のための支援制度が多数存在し、積極的に取得するよう推進しています。男性職員の育児休業を取得する割合も増加しています。

住居手当

民間の賃貸住宅に居住している場合に、家賃額に応じて月最大28,000 円支給されます。また、全国に存在する国家公務員の宿舎に入居できる場合もあります。

地域手当

地域における物価などが考慮され、基本給に乗ぜられる加算割合が地域ごとに異なっています。

研修制度

検疫所では、検疫官としての資質や能力を養うための研修制度が充実しています。また、業務については、業務の実践と知識の確認を行うチェックシートを活用し、上司や先輩のフォローを受けながら一人前の検疫官として日々成長することができます。

職場内研修	職場内指導及び訓練を一定の水準で実施。 ●基本的な感染予防、防止策の講義と実践　●ワクチンの講義と事例検討　●防護服着脱訓練　等

全国研修　経験年数に応じて５つの階層に分類。階層別に期待される目標に応じた研修で知識や思考を養成。

初任者研修（入省後～6ヵ月未満）
STEP1
検疫所で勤務する新任職員として、職務遂行に必要な基本的知識等を学ぶ。

初任者フォローアップ研修（6ヵ月～1年目）
STEP2
若手検疫官として関係法令等に基づき業務を行っていることを再認識。職責の自覚や方向性を明確にできる思考を養い、自立して職務に取り組むことができるようになる。

検疫官指導者初級研修（入省後３年以上かつ30~40歳代で所属長が適当と認めた者）
STEP3
若手職員として関係法令を理解し、後輩への指導及び手本となる行動ができ、更に問題解決及び関係機関との調整などに関するサポートができるようになる。

検疫官指導者中級研修（入省後５年以上かつ30~40歳代で所属長が適当と認めた者）
STEP4
将来検疫行政の中核となるよう、職務遂行に必要な関係法令の運用等に関する知識を深め、感染症に関する行政的視野の拡大及び識見の充実を図り、併せて各検疫官の相互理解と信頼関係の維持･促進する。

検疫官指導者上級研修（入省後７年以上かつ40歳以上で所属長が適当と認めた者）
STEP5
検疫行政の中核として、職務遂行に必要な関係法令及び通知を再認識するとともに、問題を分析して的確な対応及び問題解決に向けた指示・指導ができるようになる。
併せて検疫所間の相互理解と信頼関係の維持・促進する。

その他、厚生労働省本省や人事院等が主催する研修や感染症に特化した外部機関の研修もあります。

RECRUITMENT 採用について

採用 Q&A

Q. 引越しを伴う全国転勤はありますか？

A. 定期的にあります。

希望や適正等を考慮し決定します

本人の希望や適正、その時期の人員配置等を踏まえ、初任地から引越しを伴う場合があります。
また、入職後は約２年の周期で所内での部署異動、引越しを伴う他所への異動、検疫所外である厚生労働省本省や国立感染症研究所への出向を重ね、その地や役職によって異なる業務を経ながらスキルアップしていきます。
また、異動については定期的な配属地希望調査も行っております。

Q. 高い外国語学力は求められますか？

A. 必須ではありません。

職員同士連携して対応しています

選考については、必ずしも外国語学力を求めていません。
勤務時に外国人の方とのコミュニケーションが難しい場面に遭遇した場合には、周りの職員らと助け合いながら対応しています。
中には、入職後、自主的にスキルを伸ばして業務に活かしている職員もいます。

Q. 看護師としてのブランクがありますが大丈夫ですか？

A. 大丈夫です！！

業務を一から習得できます

検疫官（看護師）の職種は、新規採用を募集しておらず全ての方が中途採用になることから、これまでの経歴は皆様々です。検疫官として働くというのは、誰しもが初めてのことですので、育児や介護等で一度看護師職から離れた方でも安心して始めることができます。臨床経験３年以上（※下記参照）を満たしていれば応募可能で、入職後は研修や上司・先輩からのサポートにより一から業務を習得することができます。
また給与についても法律に基づいた上でこれまでの経歴が加味され、一人ひとり決定されます。

採用の流れ

検疫官（看護師）は採用を随時募集しています。詳細については、厚生労働省HPの検疫所採用情報をご確認いただくか、採用担当者の問い合わせ先（裏表紙）にご連絡ください。

1 **書類選考**　→　書類選考合格
履歴書・レポートの審査を行います。

2 **人物試験（面接）**　→　人物試験合格
面接の日時と会場は相談の上で決定します。
面接日時　随時※土日祝除く
面接会場　厚生労働省本省もしくはお住まいの近くの検疫所

3 **採用**
採用日については応相談です。

応募資格	●日本国籍を有する方 ●看護師免許を取得している方 ●応募時点で、看護師として３年以上の臨床経験（医療機関勤務）のある方 ※准看護師としての経験は含まれません ●普通自動車免許を取得している方※業務上、普通自動車を運転する場合あり
応募書類	●履歴書（写真貼付）　●看護師免許証（写）　●レポート（横書き 1,200 字程度）